

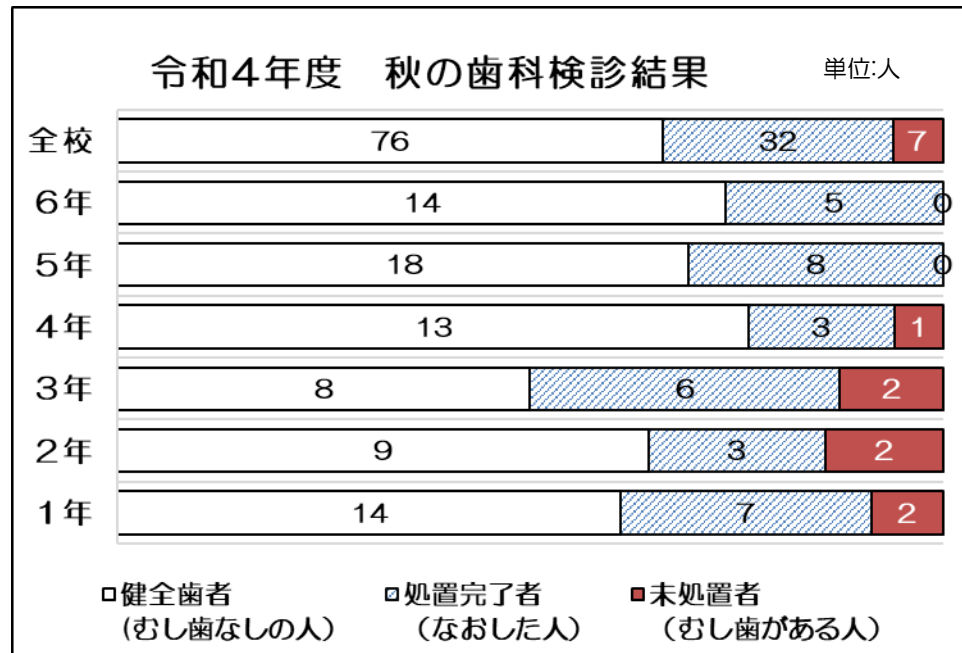
みんなげんき

令和4年11月18日



むし歯のある人がぐんとへった!!

峰山小学校児童の歯の状態は、年々“むし歯なし”（すべての歯が健全）の人がふえていて、秋の歯科検診でも、全校の半数以上の人（66.1%）が“むし歯なし”でした。さらに今回の検診では、春にくらべてむし歯のある人がぐんと少なくなっていました。（春の検診19人→秋の検診7人）むし歯を治した人が増えた結果だと思えます。



にゅうし 乳歯のむし歯をそのままにしないで



検診の結果を見ると、未処置歯のほとんどが“こどもの歯”（乳歯）のむし歯です。「“こどもの歯”のむし歯だし、どうせはえかわるから・・・」とそのままにしておかないでください。おとなの歯が健康に生えてくるために、また、よい歯ならびのために、しっかりなおしておきましょう。

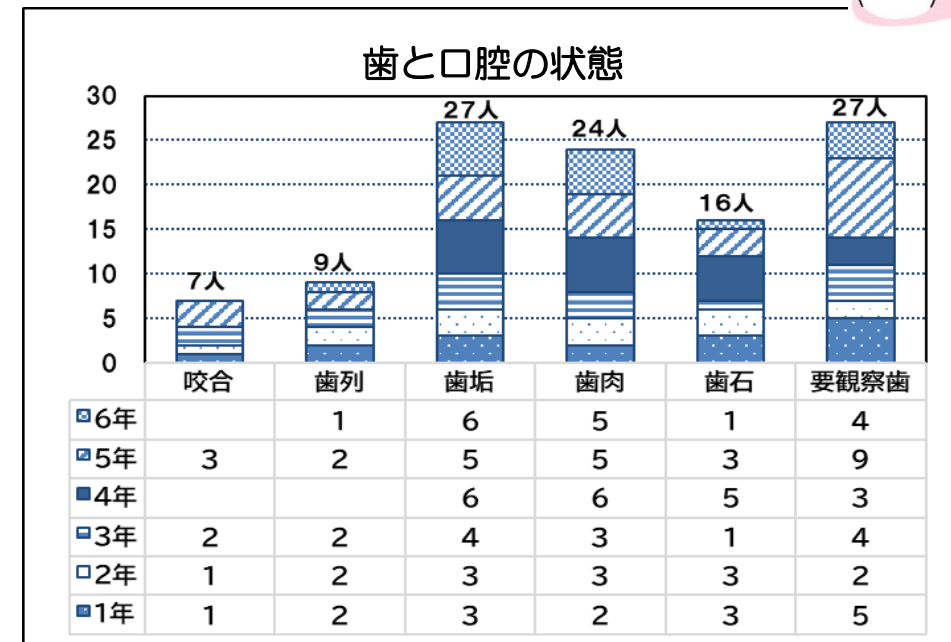
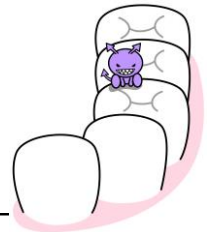
安心してはいけません!



むし歯なしでも“C0”がある人が多いです

5・6年生を見ると、むし歯なしの人が0人でとても良い結果ですが、安心してはいけません。むし歯なしでも“C0”（要観察歯：ほうっておくとむし歯になってしまうかもしれない歯）のある人が多いです。

とくに、奥歯（6番目の歯）が“C0”になっています。奥歯まで歯ブラシをとどかせて、ていねいにみがくようにしましょう。毎日ていねいにみがくことで、むし歯になることをふせぐことができます。



しこう 歯垢をとりのぞこう!

高学年を中心に、歯垢がついていている人が多いです。歯垢がついたままだと、歯肉の状態が悪く（赤くプヨプヨしてくる）なったり、歯石（右のように固くなる）になってしまうことがあります。このような状態がつづく、健康な永久歯をずっと保ちづけることができません。歯と歯肉の健康を守るためには、毎日のていねいな歯みがきが大切です。



奥歯まで歯ブラシをとどかせて、1本1本ていねいにみがこう!